
幻想を操る者 ~ secondary ~ 幻想は再び

六道輪廻

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻想を操る者（secondary）幻想は再び

【コード】

N8927N

【作者名】

六道輪廻

【あらすじ】

これは零が異世界を巡っている最中に救った星の約2500年後の世界

今再び幻想はこの地に降りる…

注意

この小説は零が周ったとされる世界の物語です。こんなのアリ？みたいな展開もあるかもなので注意して下さい

(前書き)

六「初めての短編だ：ちょっと感動：あっ！この小説は幻想を操る者のもしもの世界ですので此れから使う技や設定などもあるかもしれないのでよろしくお願いします」

物語

これは零が救ったある世界の約2500年位たった頃の世界の

其処では零は世界を救った英雄として語り継がれていた

くかの者は剣を持ち敵を斬り

或時は槍を持ち敵を貫き…又銃を手にし敵を撃つ

彼を撃たんとする攻撃は何処からともなく繰り出した盾で塞がれる

3

かの者は焰を操り…又は雷を操り敵を撃つ

かの者は幻想を操る者…又は妖あやかしの主ぬらりひよんと呼ばれていた…

かの者の名は…零…幻想を操る妖怪の主…零と…く

零英雄記より…語り継がれる伝説の一部より

「これより召喚の儀式を行う！生徒は此れから自分の半身とも言える守護獣を呼ぶ！先生はこれが楽しみでな！」

生徒1「先生へ早く始めてください」

先生「おお…すまん！では一番から…」

…side…

うっ…緊張してきた！この日の所為で夜眠れなかったよ

？「レン？緊張しているの？」

レン「うん…サヤはもう終わったんだよね？何を召喚したの？」

サヤ「うん！フレイムウルフだよ！まだ子犬だけど」

レン「凄いじゃん！フレイムウルフってレアだよ！子犬と言っても成長が早いから気にしないでしょ？」

先生「レン！レン・フォルグス！」

サヤ「あつ…レン？次だよ」

レン「あつ！ホントだ！言って来るね」

さうして！何が召喚されるかな？私は強い守護獣じゃなくても良い…ただ一緒にご飯食べてくれたり…一緒に生活してくれる…傍にいてくれる人が良い…

てっ！守護獣何だから人じゃ無いや…エへへ／＼

レン「聖なる者に次ぐ…我の思いにこたえる者よ…此処に私と一緒にいてくれる者よ！今この思いに答えて！」

その願い…この俺が聞き届けた！

レンはえ？と言った時に急に空間が割れた…

「」「きゃあああ！」「」

先生「なっ！なんだ！これは空間が…」

先生が言うとうりに空間が割れていて其処にはレンの前にとても
デカイ鏡があった

レン「何？鏡…それにあの声は？」

ピシッ！

レン「ん？」

ピキ！ビキビキ！！…バッキイン！！！

轟！という音と共に周りに風が起こり其処にはただ一人の男が立
っていた…

レン「？誰？」

レンが男に聞くと男は振り返った…すると周りの皆…レンも含め
て驚いた…

その男の姿は伝説の男の姿とそっくりだった…

黒い髪に交わる白い髪…そして黒い着物を羽織っているその姿…
まるで伝説に語りつながれている人物に瓜二つだった

？「俺か？俺の名前は零…人はぬらりひょんとも言つがな…」

これが私未熟な召喚士レンと…英雄の零との出会いの物語である

零「まさかまた此処に来る事になるとはな…運命とは分からないものだ…」

レン「此処が貴方が守った星よ…名前はガイアースって言うの！」

？「あんたが零か…その力本物が試させてもらっぞ！」

？「久しぶりね！零！会いたかった！！！」

？「貴様は我らの障害になる！此処で死んでもらうぞ！」

零「前にも言ったが…俺は世界なんかの為に戦わん…自分の為に！そしてレンの為に戦うだけだ！」

？「滅ぶべし…この世界の全ての命よ…」

零「俺には負けられない理由があるんだ！」

幻想を操る者〈secondary〉幻想は再び

零「またな！レン…またいつか会おう…」

レン「うん…またいつか…」

(後書き)

六「どうでしたか？この小説が読みたいと言う人がいれば感想で送って下さい！たぶんこの小説は連載になるかもしれないです…よろしく願います！」

零「そんな来るかねえ…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8927n/>

幻想を操る者 ~ secondary ~ 幻想は再び

2010年10月21日21時09分発行